

令和 6 年度 第 1 回 大垣市緑化審議会
議事録
(令和 6 年 8 月 5 日)

令和6年度第1回大垣市緑化審議会を、令和6年8月5日（月）市役所4階情報会議室において開催した。

次第は、次のとおりである。

議事

- （1）副会長の選任
- （2）令和5年度大垣市みどりの行動計画実績及び評価について
- （3）令和6年度大垣市みどりの行動計画（案）について

その他

- （1）保存樹木の解除について

本日の委員は次のとおりである。

出席委員（12名）

森 誠一	玉木 一郎	山岸 真由美	高木 良樹
窪田 一仁	三輪 正直	栗田 順公	名和 知容史
小島 智之	後藤 育男	高田 美穂	高橋 和子

欠席委員（2名）

瀬ヶ沼 信義 松原 隆司

本日の市の出席者は次のとおりである。

都市計画部長	河瀬 良康
公園みどり課長	辻 紳一
公園みどり課	小西 浩司
公園みどり課	川崎 誠

(開始時刻 午後 2 時 00 分)

事務局

皆様こんにちは。

定刻となりましたので、ただいまから令和 6 年度第 1 回、大垣市緑化審議会を開催させていただきます。

本日はご多用の中、また大変お暑い中、ご出席賜りまして誠にありがとうございます。

4 月 1 日付で、公園みどり課に配属となりました川崎でございます。

本日の司会進行を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、審議会の開催にあたり、河瀬都市計画部長よりご挨拶を申し上げます。

都市計画
部長

皆さん改めましてこんにちは。市の都市計画部長をしております河瀬でございます。よろしくお願いいたします。

本来ですと、石田市長が出席してご挨拶をさせていただくところですが、公務の方が重なっておりますので、市長に代わりまして、私からご挨拶を申し上げます。

本日は、令和 6 年度第 1 回大垣市緑化審議会を開催しましたところ、ご多用の中ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

また皆様におかれましては、緑化推進を初め市政全般へのご指導をいただくとともに、大垣市緑化審議会委員に従事していただいておりますことを、この場を借りてお礼申し上げます。

さて、7 月下旬に梅雨が明けてから、連日猛暑が続いておりますが、やはり癒しと安らぎを感じられる緑は、我々の生活に不可欠なものでございます。

本市におきましては、みどりの基本計画に基づき、時代のニーズを捉えながら公園や緑地の整備保全など、質の向上を重点に置いた緑化推進をはじめ、ゼロカーボンシティ大垣の宣言、環境 SDGs 大垣普及支援センターの管理運営など、循環型社会の実現に取り組んでいるところでございます。

とりわけ水と緑をキーワードとして、環境負荷の軽減や CO2 削減による脱炭素社会の実現、また、令和 5 年度から水を見る機会、水に触れる機会を増やすことで、水都を感じられる風景を作っていく水都大垣再生プロジェクトを展開するなど、市民の皆様とボランティア団体、行政が一体となった事業を展開してまいりました。

このような中、年々厳しさを増す猛暑や記録的豪雨などの異常気象、自然災害や環境問題、生物多様性の保全など、山積する課題に対応するためには、緑の持つ多様な機能がこれまで以上に求められておりまして、今後もこの緑を通じて SDGs をさらに推進していくことが重要であると考えております。

本日は令和 5 年度のみどりの行動計画の実績並びに評価についてご報告さ

せていただくとともに、令和 6 年度のみどりの行動計画案などについてご審議をいただきたいと思います。思っております。

委員の皆様には、その豊富な知識や経験から、忌憚のないご意見ご指導いただき、適切な審議を図りつつ、これから大垣市が進むべき道についてご提言いただくようお願い申し上げまして、甚だ簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

事務局

それでは、本年度の審議会も会場形式で開催いたします。

昨年度は、Zoom の形式を取り入れた形でした。

本審議会がスムーズに進行できますよう、ご協力をお願い申し上げます。

なお、本日は 2 名の委員さんが欠席されておりますが、過半数の出席がございますので、本会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。

また、委員の皆様のご紹介につきましては、お手元にごございます名簿を持ちまして、ご紹介に代えさせていただきます。席次表もあわせてご覧ください。

本日の審議会は公開とさせていただきます。

本日は傍聴希望者がおりますので、大垣市緑化審議会規則第 5 条第 2 項の規定により、出席委員の過半数を持って「傍聴の可否を決する」こととなっておりますので、出席委員の皆様にご賛否をお諮りします。

傍聴の許可について賛成の委員は挙手をお願いいたします。

(挙手 全会一致)

はい、挙手過半数ですので、審議会の傍聴を許可します。

傍聴希望者の入室をお願いします。

(傍聴者 入室)

それでは議事の進行にあたり、森会長よりご挨拶をいただきます。

よろしくお願いいたします。

会長

皆さんこんにちは。よろしくお願いいたします。昨年度に引き続きまして、会長を務めさせていただくことになりました、岐阜協立大学の森でございます。本日は大変ご多用の中、この審議会にご出席賜り誠にありがとうございます。

本日本学の方ですね、全国高校文化祭というのを、3 日から始めて今日 5 日で終了するというようなことで、本学の方では自然科学部門、ということで約千数百名の高校生が本学に来て、色々と発表をいただいたというような機会に恵まれました。加えて本日の午前中は私の方から記念講演ということで、1 時間半程度講演をさせていただいてその後ですね、子供たちの方からどんどん質問が来てですね、間に合うかどうかというふうなぐらいですね、質問が

来て大変驚いております。

その中にはやはり自然科学部門でしたので、やはり緑と水というものが一つ大きなテーマでありました。

つまり、我々・・・今ここにご参加いただいている、大変恐縮ですけど、おじさんおばさん以上にですね、高校生以上に熱心にかつ真摯に自分たちの問題について特に緑、そして水、それから生き物でしたけれども、自然科学に関係する、特にポスター発表をされて、かなり盛況に北海道から沖縄までの高校生が参加されておりましたけれども、というような機会に恵まれて、加えて私自身、基調講演をさせていただいたということで、大変いろんな意味でですね、感慨にふけっているところでもございます。

先ほど河瀬都市計画部長がおっしゃったように、我々の取り巻く環境というものが、ますます厳しくなっていると。地球温暖化というのは非常に多いはずですけども、加えて社会政策的な意味においても、少子化高齢化、これはどなたも言われるようなことではありますけれども、これがもう目に見えた形で顕現していると、いうようなことが子供たちの将来にとっても、我々おじさんおばさんはですね、改めてしっかりと考えていく必要があるかなと。

本市におかれては、市長が中心となって水都再生計画というような事が、しっかりと今軌道に乗った形になっているかという風に思っております。

これも一重に市民の皆様方のご支援等の賜物かという風に考えておるところでございます。

YouTube から上がっておりましたけど、市長さんが、都市対抗野球で活発に活躍されておりましたけれども、ちょっと余談で恐縮ですけども、都市対抗野球はその後どうなったんでしたっけ？

事務局 準決勝まで行きました。

会長 準決勝まで行き、市長が頑張って踊ってみえたのは、準決勝の時にですね？

事務局 2 回戦の時ですね。

会長 確か JR 東海でしたかね？相手は JR 東海じゃなかったですかね？

申し上げたい事は、ぜひまた多分 YouTube を見られる環境に置かれている方はぜひ、大垣市長と都市対抗野球、二つぐらい上げれば何かヒットするんじゃないかという風に思うんですけども、申し上げたい事は、市長が非常にそういった形で、市の活性化ということに向けてご尽力されていると、その水都再生という事も、その一つの賜物ではないかという事を申し上げたかったという事です。

今日私自身の気持ちの中では、そういった高校生との付き合いと、それと市長のそうしたご尽力というものを受けて、一市民としてあるいは緑化審議会

として、皆様方とまたこういった機会、対面でですね、審議できるというような事をそういった機会に恵まれたということについては、ぜひ、非常にこれ重要に大切にしていきたいという風に思っております。

本日の会議としては、昨年度の審議会というのは令和 4 年度大垣市みどりの行動計画実績および評価、それと令和 5 年度の大垣市のみどりの行動計画案ということについて、ご審議をいただいたという事だったかと思います。

本日は令和 5 年度の大垣市みどりの行動計画実績および評価、それと令和 6 年度の大垣市みどりの行動計画、これは案ということでございます。この議事 2 件を審議してまいりたいという風に思っております。引き続きの皆様方と一緒に、こうした審議を含めて、ご意見をいただきながらですね、実りある審議会にしたいと思っておりますので、ご協力の程お願いをいたします。

それでは引き続き、事務局の方にお返しします。

事務局

森会長、ありがとうございます。

ここで河瀬都市計画部長は他の公務のため退席させていただきます。

よろしくお願いします。

(都市計画部長 退室)

それでは、これよりの議事につきましては、大垣市緑化審議会規則第 4 条第 1 項の規定により会長が審議会議長となります。

森会長、議事の進行をよろしくお願いします。

会長

はい。それでは議事次第に基づきまして、審議の方を進めていきたいと思えます。本日の議事録署名者ですが、小島 智之（こじま ともゆき）委員、それから高橋 和子（たかはし かずこ）委員のお 2 人をお願いをしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは次第、まず初めに、**第 1 号議案**の副会長の選任ということになります。いかがでしょう？

これは後藤文夫副会長が、大垣市連合自治会連絡協議会を 3 月末で退任された事に伴い、副会長が空席となりました。

大垣市緑化審議会規則第 3 条の規定により、副会長は委員の互選により定めるという事になっております。

それでは、規定に基づきまして副会長の選任を行おうと思いますが、委員の皆様、いかがいたしましょうか？

委員

はい。（挙手の声）

会長

よろしくどうぞお願いします。

委員 はい。副会長には、大垣市連合自治会連絡協議会の高木委員さんにしたいと思いますが、どんなものでしょうか？

(「異議なし」の声多数)

会長 よろしいでしょうか？

(「はい」の声多数)

それでは皆様方、ご異議ございませんので、高木委員に副会長の方をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは続きまして、第 2 号議案令和 5 年度大垣市みどりの行動計画実績および評価について事務局の方から説明をお願いいたします。

事務局 皆さんこんにちは。公園みどり課小西でございます。資料説明を担当させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

それではですね、第 2 号議案のみどりの行動計画、実績および評価についてご説明させていただきます。

第 2 号議案「みどりの行動計画、実績および評価について」について説明

会長 はい、ありがとうございます。

一応確認ですけれども、4 ページのこの表の見方なんですけれども、施策評価結果というやつ。これは①から⑤まであって、それぞれ三つ欄がありますですね。それを一番上が目標で、2 段目が実績、で一番下が ABC の評価という理解でそれぞれよろしいでしょうか？

事務局 はい、左様でございます。

会長 はい、ありがとうございます。その中で、④についての緑に関するイベント参加っていうのがコロナのこともあるんでしょうけれども、非常によろしくないということではあるということで、この評価の仕方をどうするのかということは、皆さん方の意見を伺えればという風に思いますけれども、そういう意味合いがあるということでありました。

いかがでしょう。どの観点からでも結構です。昨年度の行動計画の実績、そして市の方における評価についてご説明いただきました。

場合によっては、委員の皆様方と何か実感がちょっと違うという事も、ひょ

っとしたらあるかもしれません。そういった事を含めて、ご意見いただければという風に思います。よろしくお願いいたします。

(委員挙手)

会長 お願いします。

委員 3点ほど。④の、みどりに関するイベント参加者数というところで、先々週ですかね、水門川の清掃があったかなとは思うんですけど、これはこの公園課の事業ではなかったということでしょうか？

事務局 こちらの方のみどりに関するイベント数は、公園みどり課が主催している花のイベントのみ計算しています。この前あった水門川クリーン作戦の方は含まれておりませんので、それを足すともっと大きな数になると思います。

30,000人に対して少ない6,000人というのは、花と緑のふれあい展、ハナショウブまつりハナハスまつりなどの数字になります。よろしくお願いいたします。

委員 はい、ご回答ありがとうございます。昨年も確か開催されてたかなっていうところで、いろんなこういったイベントを計画していただいて、やっていたいておるということで、大変ありがたいことかなということで、先ほど会長の方からお話ありましたが、緑と水、まあ、切っても切れないというところで、水の事業についても力を入れていただければなという風に思いますのでよろしくお願いいたします。

2点目になるんですけど、今×(バツ)がついてる事業について、どうしてもそちらに目が行くのかなというところで、3号議案でまた何か新たな計画をということがありますので、こちらではサラッというところで確認したいんですけど、ホームページでこの生垣のホームページを見ますと、昨年度の広報ですかね？ということで生垣というよりも、何かプランターを設置する写真が一つ載ってたかなと思うんですけど、そういった形の補助も可能という状態だったという風に受け取ってよろしいんでしょうか？

事務局 チラシの方はですね、資料の方にもございますが、生け垣の補助金のもう一つ前ですね、花壇の設置補助金、今、委員がおっしゃるように、プランターだとか地植えの花壇、こういったものの補助金の関係もございまして、昨年度は3件ほどの実績がありまして、それと併せてチラシの方とかホームページは、生け垣の方も一緒に出させていただいているという状況でございます。で、花壇の方はそこそこ相談がありまして、プランターにしても地植えにしても、いろいろ補助金を活用されるっていうケースがありまして、なかなか今、時代的

にですね生け垣っていうのは、どうしても維持管理が大変だっていうことで、ちょっと最近のニーズとしては・・・トレンドとしてちょっと落ちてきているのかなと。それに変わって先ほど申しましたように、令和２年度、皆さん記憶にあるかと思うんですが、大阪北部地震でプールのところの壁がですね、倒壊しまして、小学生の女の子が亡くなれると、そういった事案がありまして、それで全国的にブロック塀を壊して・・・処分をするだけのお金っていうのは非常に高額なものですから、そういった補助制度ということで、今、建築指導グループの方で２年度からそういったものに活用させていただいて、壊す費用が欲しいという、そういったニーズが多くなっているということで、ちょっとニーズの変化があるのかな、という風に思っているのですが、生け垣に関しましては、やはり緑化の推進とか、あるいは災害活動とかがあった時に、そういった防ぐ役割もございますので、それに関しては、引き続き制度としては維持していくという形でございますので、よろしくお願いいたします。

委員

はい、ありがとうございます。今おっしゃられたように、ブロック塀については、今でもお問い合わせがあつて、建築士会の方で問い合わせを受けることもあつて、仕事柄も受けることもあるんですけど、危険なブロック塀を転換して、逆に緑豊かな町並みを作る。これ、非常に理に適った政策かと思しますので、６年度の予定も入っているようですので引き続きやっていただけないのかなというところなんですけど。ただ要件を見ますと、なかなか５ｍの生け垣を作らなければならないとか、その辺りについてはおそらく街中だとしてもその間口を５ｍ確保するのも大変かなという部分もございますので、何か緩和規定等この補助が使われないということは、使いにくいと、言い換えればそういうところもあるかと思しますので、ちょっと改善を図りながら、自治会でも構いませんので、活用できるような方策、名和荘苑もいらっしゃいますけど、実際に仕事の中で実績・・・こういったものが望まれている、そういったこともあろうかと思しますので、現場とすり合わせをしながら、使いやすい、また、広報しやすい良い政策にさせていただければなという風に思います。

３点目になりますが、これちょっと気になったのでお聞きするだけなんですけど、誕生記念樹が配布されているかと思いますが、これも非常にいい事業かなという事で、私の子供２人もお世話になって、確か１０年前は寒桜があつたのかなと。桜を杭瀬川に植えさせていただいたことかなと思うんですけど、桜はこれからあまり考えていらっしゃらないということでしょうか？

事務局

数年前になりますが、寒桜の誕生記念樹植栽ということで、杭瀬川の堤防沿いに植えさせていただいたことがあります。こちらは河川の堤防上になりますと、国土交通省との協議になり、植える場所が限られるということで、現在は事業をしていないという状況にあります。今後、協議がまとまれば、考えていきたいと思しますのでよろしくお願い致します。以上です。

委員

はい、ありがとうございます。といいますのも、毎年実は・・・せっかく植樹をしたものですので、あの拝見しに行くんですけど、間隔ってなかなかタイミングが難しくて、先ほど市の花の紹介あったんですけど、杭瀬川の咲き頃だったりだとか、そういう情報が何かしらホームページ上で拝見できるとありがたいなと。これ一市民の意見として述べるだけなんですけど、そういったところをご配慮いただけるとありがたいなと。すいません余計なことですが、よろしく願いいたします。以上でございます。

会長

はい、ありがとうございます。私も生垣の件は、次の議案になるかもしれないんですけども、この昨年度の実績について、皆さん方から意見をいただき、多分今年度の行動計画ということに反映されていくべきかという風に思いますので、現状の、例えば生垣の件につきましても、ご意見いただいたように、これ続けていくのか？とか、あるいは、何かやり方を少し検討・・・再検討されるのかというようなご意見等、この第 1 議題につきましても、ぜひいただければという風に思います。

あと、ちょっとそのお話が出たので、桜についても何かやり方と言いますか、発信の仕方というのを先ほど委員の方からは、咲き頃みたいなお話もありました。

加えて、よく大垣にやって来られる方が「大垣って桜多いね」と言われるんですね。堤防にはずっとあるし、桜堤防っていう形であったりするので、例えばですけども、これちょっと評価して駄目だったらちょっと却下ですけど、例えば、少なくとも岐阜県下の市町村あたりで 1 人当たりの・・・市民当たりの本数は、桜が一番多いとかですね、何かそういったデータを出して数値で、桜を売りにするっていうようなことも、あって良いんじゃないかなという風に思ったので。ただ、もし例えば郡上八幡がそうだったらちょっとこれ却下なんですけど、何かそういう、その、桜でかなり力を入れているように見えるので。実際そうだと思うので、何かその辺、桜戦略っていうのは少し検討されるといいんじゃないかなっていうのもちょっと思いました。

やはり日本人、桜、私ももちろんそうですけど好きだと思いますので。うちの大学の周辺にも、桜、3 列になって並木道があるので、何かそういうイベントをちゃんとやるとかですね、何かそういうことをちょっと検討いただけるといいかなと。これは次の議案になるかもしれませんが、そういったご意見、昨年度のこの評価、皆様方からちょっとぜひご意見いただければという風にも思います。

時間の方はまだ多少ありますので、ぜひご意見いただければと思います。

(委員挙手)

委員

はい。失礼いたします。先ほど申し上げましたように桜ですね、私もいろいろ色んな県の・・・数件ですけども、行ったときには気をつけて桜を見てみるんですけども、大垣のようにたくさん桜があるっていうのは、本当に珍しいんじゃないかと思うんですね。堤防とかいろんなところに桜が咲いてるんですけども、そういうイベント的なこと・・・墨俣ではね、桜とかあじさい祭りとかってあるんですけども、もう少しそれ、水門川の川下りのように、桜をもう少し大々的に売りに出すっていうか、宣伝するっていうか、それをして、もう他所の県からも来てもらえて見ていただくぐらいならね、あれがあるといいかなと思います。私の住んでるところに、今 50 数年経っている桜があるんですね。桜の木が往復水路両脇に片道 500m ぐらいで、1 キロあるんですけども、大垣市の多い中でも、その桜の木っていうのは本当に古くて、あの幹も多くて、すごく年数の経ってる大きな幹なんですね。いろんなところでたくさん桜があるんですけども、あれだけ大きな桜の木っていうのは、ちょっと芭蕉会館のこのね、水門川沿いのあそこに匹敵するような・・・水路沿いですけども、桜の並木になってるんですけども、それをあまり活用されてないんです。水路の脇は車が通ってるもので、みんなここで花見できるといいねって言うってても車を通行止めするわけにはいきませんもので、なかなかそういうことができないと。

せっかくそういう桜の素晴らしい木があるのに、それを活用できると宣伝して下さるといいかなと、皆さんに見ていただけるといいかなっていうのは、常日頃思ってた。今その桜のあれが話が出ましたもので、ちょっとお話をさせていただきました。すいません。もう一つなんですけども、久しぶりに曾根城のハナショウブのそこ行ったんですね。子供が小さい時にはよく行ってたんですけども、こないだ久しぶりに行くと「ええっ、ここがそうだったのかな？曾根城のハナショウブやったんかな？」っていうぐらい、こぢんまりしてしまってるんですね。何十年前前は、本当にずっと見応えのあるハナショウブが、あってね、中もずっと見て回れるような本当に素晴らしい曾根城のハナショウブだなんて思って見てたんですけど、何分の 1 かぐらいになったんですね。一か所、花が咲いてないから特に、寂しく見えたんかもわかりませんが、もう少し整備されて、ショウブだけじゃなく、他のものを植えたりね、ショウブだと、本当にそのショウブだと無くなってしまうんで、またそのそばに何か違う、あじさいとか違う花も植えながら、あそこをもう少し盛り立ててくださいと大垣市のね、名所としてもまた一つできるかなとも思いました。以上です。

事務局

一つ目は桜に関してですが、現在、大垣市の水路沿いには数多くの桜があります。こちらは、先人の方が、40 年前 50 年前に植栽されたことで、本当に綺麗に見える状態になっております。特に水門川、奥の細道結びの地の前の桜は 50 年 60 年経って、見頃を迎えています。今後、桜を維持、この見栄えをずっ

と続けていかねばならないと思っております。

また、墨俣の桜ですと、河川の堤防上にあるということで、植え替えができないというようなことを管理者の方から言われておりますので、延命という形で、今、幹を切り落として新しい芽を出して、花を咲かせるなどの取り組みをさせていただいております。先ほどのイベント等に関しては、大島堤防の桜とかですね、それぞれ場所によっては、一時期通行止めをして、祭りを実施しておりましたが、コロナ禍で無くなってきております。またそのようなお祭りを復活させていきたいと思っております。

続きましてハナショウブは、120 品種 2 万 7,000 本で、時期によっていろいろバラバラで、咲きが揃わないという部分があります。今までも指摘を受けていまして、充実しないという話がありました。花の充実を含めて、この時期に咲くというとかあじさいとか別の花も検討するとか、ショウブに特化するとか、見に来ていただいた方に満足いただけるような状態にしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

会長

はいありがとうございます。他はいかがでしょうか？

(委員挙手)

委員

失礼します。やはり評価で気になるのは E 評価ですね。④番の E ということは 60%未満ということで・・・イベントに関しての意見ですけれども、もう以前 20 年ぐらい前は環境課と一緒にコラボして、大垣城ホールで確か大きいイベントがあったと思うんです。

なので、大垣市っていろんな課の繋がりっていうんですかね。違う課とコラボすれば、もっと大きなイベントができるのではないかなという意見ですね。いつも同じことをしては、やはり数字はそんなに上がらないのではないかなと思うのと、あとこの×（バツ）ですね。5 ページのやはりこの×（バツ）が気になるのは、先ほどの生け垣の話なんですけど、実は若い世代は生け垣という言葉をまず知りません。娘に聞いてみたところ、うちも一軒家ですけど・・・築 95 年なんです。でも、生け垣という言葉自体を知らなかったの、あとマンションに住んでる若者たちも多いので、何かもっと言葉を変えてくださるか・・・先ほどおっしゃられた、おじさんおばさん世代では、昭和の私でもわかりますが・・・生け垣、もっと広い、広くみようと思うならば、若い子に馴染みのある・・・わかりやすい・・・言葉はもう変えてしまおうとか、英語表記にするとか、もっとちょっと改善すれば、多少はちょっと変わってくるのではないかなっていうのを思いました。以上です。

事務局

イベント等に関しましては、コロナ禍が明けたということで、この新庁舎ができましたので、前は大垣公園でやってましたが、現在は、新庁舎西の丸の内

公園を中心に実施しています。去年は実施日を1日としていました。今後は、コロナも明けてきましたので、日にちを延ばしたりとか、元の場所に戻したりとか、以前の様に環境フェスティバルと一緒にやったり、連携しながら、今後の事業で人数を増やしていきたいと思っております。生け垣補助金の方は、昔から火災に強いということで、延焼を防ぐという意味で、多く植えられましたが、やはり生け垣という言葉自体がわかりにくいという話もありましたが、その効果等を伝えながら、生け垣の持つ都市の景観であったり、その火災に強いなどのメリットの部分を多くPRして、多くの方に利用していただけるように、また名称・制度等も考えていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

会長

はい、ありがとうございます。

確かに、発信力というものがかなり関連すると思うので。生垣・・・何か良い言葉ありますか？

逆に・・・逆にですけど、生け垣で押していくというのもありかもしれない。昔昔のことを振り返ってもらうためにも。つまり、一旦そういったことの発信の仕方っていうことに多分関連するかなというようなことをちょっと今思いました。

加えて今お話を伺っていて、3人の委員の方にお話をいただきましたけれども、何て言うんですかね。堤防と桜っていうのは結構ワンセットでやる人が多い。

このことはやっぱり大垣の非常に大きな特性ですよ。

水っていうものと緑っていうもの。これは何かうまく関連づけたような、そういう意味においては場合によっては河川課とか治水課っていうのか、別の課とのコラボみたいな発想っていうのは、そちらの方はそちらで、何かやってくるのかもしれないですけども、その辺のちょっと連携っていうのはあってしかなるべきかなと。

川沿い・・・多分川沿い・・・なんかあんまりちょっといいネーミングじゃないですけど、輪中桜・・・ちょっとこれはあまりよろしくないですね。なんか今風のちょっとおしゃれっぽいようなもので、吉野なんちゃら桜みたいな感じのですね。そういうなんか桜名っていうのがあると、大垣らしさが出てくるかなと。

加えて、おうちでフォトコンテストっていうのをやっていたわけですけども、これはコロナ禍っていうことで、家でのおうちで何かをやるっていうことであつたわけですけども、これからはコロナ5類になった以降はもっと外へ出て行っていただいて、川と桜、ある堤防と桜とか、そういったことの何かフォトコンテストみたいな。

これちょっと6年度に関連するかもしれないですけども、そういった発展性が今いろいろお話を伺っていて、そういうことでできれば面白いかなって

いうことをちょっと思いました。心根は大垣らしさみたいなことです。他、いかがでしょうか？特によろしいですか。

(委員挙手)

委員

12 ページなんですけど、屋上緑化とか駐車場緑化の推進という所なんですけど、私自身がちょっとどうにもわからないので教えていただきたいんですけど、この相談とかを・・・緑化指導を行いましたっていうことなんですけど、どんな感じで相談されて、実際どんな風にお答えして実施するっていう過程に至ったのかどうかっていうことをお聞きしたいなと思いました。

っていうのは、やっぱりそういう大きいところであの緑が広がっていくっていうのは違う全体に緑が増えるっていうことに繋がるのかなと思ってお聞きしました。よろしくお願いします。

事務局

12 ページにあります、公共緑地の緑化、壁面緑化、屋上緑化、駐車場緑化など、こちらは開発行為の指導ということで、開発行為になりますので、基本的には1,000 平米以上の大きな開発、分譲住宅であったり、工場を建てたり、条例に規定があります。1,000 平米以上ですと10%以上の緑地、5,000 平米以上ですと20%以上の緑地を確保してくださいとしております。

その中で、どうしても工場とかであったり家であったりできない部分があります。そういう時に屋上緑化を活用して緑地を確保していただいたり、壁面緑化で緑を確保していただく、先方には費用等、建物の強度等を上げていかなければならないという様ないろいろな問題がありますが、多くの緑を取っていただくということで、指導しておりますのでよろしくお願いします。

会長

はい。よろしいでしょうか？

もう6 年度の次の3 号議案に関連する部分もありますので、そういった部分もちょっと今審議させていただきました。とりあえず第2 号議案として、令和5 年度大垣市みどりの行動計画実績および評価ということにつきまして、何点か皆様方からご指摘いただき、事務局の方からのお答えをいただいたかと思います。

この報告につきましては特にご異議なしという風に認めてよろしいでしょうか？

(異議なしの声)

はいありがとうございます。

それでは第3 号議案につきまして、令和6 年度大垣市みどりの行動計画案につきまして、事務局の方からよろしくお願いいたします。

事務局

第3号議案「令和6年度大垣市みどりの行動計画案について」について説明

会長

はい、ありがとうございます。

いかがでしょうか？6年度の行動計画案ということであります。

もう既に進んでいるものもあるのかもしれませんが、ぜひ皆様方からご意見いただいて今日はこれで案を取りたいということですので、よろしくご審議の方をお願いいたします。

(委員挙手)

委員

前に行った時にあの話をして、それで今回の森林保全のため鹿個体数調整実施という項目を入れてもらったと思うんですけど、個体数調整のためということは、捕獲の目標があって何個体獲るのに対して実際何個体獲れたか、そういう評価をするのがいいかと思います。

昨年度のやつを見ると256個体、256個体捕獲したって書いてあるので、ただこれがたくさん取ってるなと思うかもしれないけど、西濃はすごく多いので、何個体獲ろうと思って何個体獲れたのかっていうような、そういう評価がされているといいのかなという風に思いました。

あとその企業の森による保全活動という計画がありますけど、さっきこれを聞くべきだったと思うんですけど、これってどういう保全活動、具体的には、どう考えてるか。

事務局

はい。企業の森の関係は、上石津地域にある、かみいしづ緑の村公園というのが多良地区にありまして、そのですね国道365号の、三重県の員弁に行く手前の所なんですけど、緑の村公園のお向かいに、太平洋工業さんがやってみえる里山の森というものが整備されてまして、10年ほど前からやられてまして、そういったところで太平洋工業さんがご自分のところの山の所で、社員の皆さんご家族を含めまして、そういった環境に力を入れてみえる企業の1企業ということでやっていらっしゃると。ちょっとこの中で、植林がなかなか進んでいないっていうところもあるんですけど、この関係でいろんな方が新しい企画をされているということで、社員の方が多分数百人から1,000人以上、年間で活動されてたという部門がありまして、そういったところでやっていらっしゃる活動ということで、実は3月にですね、緑の村の関係の管理者の方が民間企業さんに代わられまして、ちょうどすぐお隣さんということで、太平洋工業さんの方にご挨拶に伺ったんですけど、企業の森ということで、ちょっとお休みしているんですけど、また新たな活動をしたいということで、本市とも連携しながら里山の保全とかそういった植樹の活動とか、環境に配慮したいっていうことの中で、いろんな活動を展開していきたいねと、ちょっとコラボ

レーションできるといいね、という風にお話は頂戴しているということでございます。以上でございます。

委員 鹿の方はどうですか。

事務局 はい。鹿の方の個体数調整ですが、割り当てが決められていると聞いております。今回の資料では、目標数との比較の記載がなく申し訳ありませでした。聞くとところによりますと、上限に近い頭数を捕獲していると聞いていますのでよろしくお願いします。

委員 お答えありがとうございます。あの最後の企業の森の保全活動の方は、保全っていうのは、結局具体的に何をしてるのかっていうのが、今の説明だとわからないので、山に木を植えるっていうのは、なんか良い話のように聞こえますけど、広葉樹なんかは、最近はどこで採れた苗木で作ったやつを植えるのかっていうのも結構大事にされてますね。

逆に他所で作った木を持ってきて山に植えちゃうと遺伝子攪乱って言って、その地域の元からあった自然を逆に壊してしまうようなこともありうるので、そういうことに気をつけていただきたい。

あとは具体的に全然何をしてるのかっていうのがわからないんで、次の報告の時には何かもうちょっと具体的な内容があるといいなと思いました。以上です。

会長 ちなみにわかるんじゃないですか？

事務局 以前、太平洋工業が植栽した樹木を育てるということで、下草刈りをしています。新たな植樹等は、ここ2年ぐらいはしてない状態です。以上です。

委員 わかりました。ありがとうございます。

会長 はい。他はいかがでしょうか？

(委員挙手)

委員 はい。それでは2点ほどですけど、5ページ、公園緑地の整備で、既存公園の計画的な再整備というところで、公園名が上がっているんですけど、これはもう随時年度で変えて整備されていくと、他にまだ上がっていない公園があると思うんですけど、という認識でよろしいでしょうか？

事務局 はい、こちらの方数多く公園等が記載されていますが、公園長寿命化計画に

基づき、計画的に更新しています。計画の中で、年度等を割り振りながら、古い施設等を順次更新しておりますのでよろしくお願いします。

委員

はい、わかりました。それぞれ順次整備していくことが非常に重要ということかなと思うんですけど、それとは別にですね、注目度の高い公園っていうのは、私が言うまでもなくご存知のことかなという風には思うんですけど、先ほどもちょっとありました上石津ですか。ただ、森林公園なんていうのは、非常にポテンシャルを持った場所じゃないかなという風に思っておりますので、何かそういったところで、基本決まった整備計画とは別にですね、重点計画みたいなのを作っていただいてですね、観光も望める、地域の整備にも望める、そういったようなところを重視して、計画をまた別に進めていただけるとありがたいかなという風に思いました。

2点目なんですけど、先ほどお話がありましたが、県産材の利用という、これ7ページにあるんですけど、県産材の利用という非常に今ニーズが上がってきている分野じゃないかなと。

海外産の材木をずっと従来使ってきた部分があるんですけど、コロナのコンテナ不足から、資材の高騰からですね、県産材への回帰と言いますか、注目が上がってきたかなというところがございます。農林課との連携もいるかとは思いますが、先ほどの上石津の多良峡にも関わる場所なんですけど、上石津は非常に緑豊かな、山豊かな場所でございます。この県産材については、何とか市の中でもですね、少し優先順位を上げていただいてですね、当然植樹もそうなんですけど、間伐もされていることかとは思いますが、そういった中で県産材の利用と併せて、市が持っているポテンシャルのある山の利用を図れるような手段、これは課を越えていくことになるかと思いますが、農林課と共にですね、考えていただけるとありがたいかなという風に思いますので、一意見ですが、よろしくお願いします。

事務局

ご意見いただきましてありがとうございます。こちらは東屋等に県産材を使うということで、かなり夏暑いので、市民から日陰が欲しいという要望等もあります。東屋を作るのであれば県産材、できれば市の材木を使って、この庁舎をつくる時もそうですが、上石津の木を使っておりますので、計画等を立てながら、森林組合さんもおみえになりますので、木を切り出してすぐ使えるというわけではないので、切って1年、2年置いて、やっと使えるという状態になりますので、計画的に、またご相談させていただきながら、県産材木等を使っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

委員

はい、お答えありがとうございました。先ほどもご意見いただきました、玉木先生は確か森林アカデミー在籍だったかなというところで、そういった材木だったりだとか、その利用方法、また、今、時を置いて材木を寝かすってい

う部分についてはエキスパートかと思しますので、せっかく委員に加わっていただいていますので、ご意見を取り入れていただきながら、政策を進めていただければという風に思います。以上です。

委員

僕はですね、森林アカデミーの方に昨年度まで居まして、今年度から岐阜大学に移ったんですけど、森林が専門なのは変わりなくて、今は演習林っていうところでその森林を管理していく、そういう立場にあります。

今おっしゃられたように、県の木というか、むしろその上石津に木がいっぱいありますので、市の材料を使うのはすごくいいことかなと思いますので、ぜひ活用して行って、活用したことをぜひPRしてくれるとより良いのではないかと思います。以上です。

会長

はい、ありがとうございます。

PR ということで言うと、私勉強不足というか、無知だったんですけど、結構使われてるんですか？この庁舎に上石津の木。

事務局

特に議場の方に多く使っております。

会長

それは私だけですか？知らないのは。

(委員の中で「知らない」と口々に言い合う)

これは、申し訳ないけど、改めて言われたように、しっかりPRをされた方がいいんじゃないですかね。なんかどうせ我々も「外材だろう」っていうぐらいしか思っていないので、ぜひ。

事務局

そのあたりを含めてPRしていきたいと思います。

会長

はい、よろしく願いいたします。他はいかがでしょうか？

(委員挙手)

委員

あのですね、イベントの人数を増やすという点で、一つすごく大垣市の企画が良かったことが川下りなんですね。それが、以前は広報でお知らせだけだったと思うんですけども、この数年前から何年前かちょっとわからないんですけど、もう5〜6年か、だいぶなると思うんですけど、ネットで予約も取れるっていうようなね、そういうことをやってると思うんです私の兄弟も遠くにいるんですけども、自分でネットで予約して自分で川下りをして行ってきたわ、っていうような報告を受けたことがあるんですね。そんなことができる

んだねっていうことで、そっちの方からの情報で初めて知ったんですけどもね。

だからそういう川下りができる、そこでは芭蕉さんが関係している桜が咲いてる時期っていうようなね、そういうことが多分良かったんじゃないかなと思ってたんですけども、そのようにやっぱりそれから、それで増えてるかどうか私はそのところはちょっとわからないんですけども、そういう何かイベントにもただ来てくださって広報だけではなくって、何か人が集まれるような、そういう方法があるといいかなと思います。

一つは昨日、金土日と水都祭ありましたよね？街の中へ行くと、賑やかに若者たちも大勢来てるんですけども、私はちょっと大垣市の本当に外れの方に住んでますもんで、子供たちにも「行かない？」って言っても、「もう明日仕事だから行かないわ」とかあんまり関心持たないんですね。だからあのイベントっていうのは、そういう関係者だけが来てるんかなとかね、もう少し何か魅力のある宣伝方法がないかなと、こないだのイベント等で一つ思いましたね。本当に若い子がたくさん来てるんです。来てる子は来てるんですけども、知らない子は本当に遠くだと、車の停め場所も無くって、私も昨日昼と夜と行ったんですけどもね。夜は本当に暗いし、止める所がありません。で、ぐるぐる回って結局帰ってきましたけれどもね。そういう駐車場の案内とか、そういう風なものもやっぱりもう少し充実してもいいかなと思いました。

だからイベントをやるにあたって、大勢の人に来てもらう方法を、イベントと同時に、ちょっと計画を立てていただけるとありがたいかなと思いましたね。以上です。

会長

はい、ありがとうございます。何か事務局の方から回答ありますか。

事務局

水都まつりのご意見をいただきましてありがとうございます。おっしゃるように、ネットの予約ですかね。特にたらい舟は非常に人気があつてですね、すぐにもう予約でいっぱいになって取れないという話を観光協会も言ってますし、そこに先ほど出ました春の船下り芭蕉祭、桜のイベントですが、非常に良いというのは非常に有効だということであれだと思います。

先ほどおっしゃいました、今インターネット回線使った SNS の中で、インスタグラムって非常に人気がありまして、年々フォロワー数とか、いろいろな担当の職員が投稿してるんですが、非常にフォロワー数がどんどん伸びている状態で、何万人とかってなかなかいかないんですが、かなり伸びてきているっていう印象があります。

ですので、こういったものをですね、水都まつりの関係のところの団体さんがインスタグラムで、かなり投稿されてまして、それにもコメントが入っていたり、フォロワーさんが来るということで、うちも広報とかホームページは、それはそれで非常にありまして、市の電子申請サービス、花飾り・寄せ植えの

講習会なんて、すごく人気がありまして、あっという間に埋まってしまいました、倍率が2倍3倍・・・と、そんな状況でございますが、それはそれとして、若い人たちはやっぱりそういうインスタグラムでかなりできているっていう状況があるかと思うので、市の方としてもそういったものをもっと有効活用できるような、先ほどからずっと繰り返していると思うんですけど、情報発信、PRの仕方というのをですね、いろいろちょっと工夫しながら、行政の気づいていない情報とかそういったものをですね、発信できる工夫のところをですね、これはもちろんこういう公園みどり課だけではなくて、市全体の話に発展する話だと思うんですが、そういったものを一生懸命いろいろ調査研究しながら、取り組んでいきたいと思いますのでよろしくお願いします。

会長

はい、よろしくお願いいたします。PRはねそんなにお金かかるものではないので、やりようによっては、効果的なものがしやすいものかなという風に思います。

最後というか、その時間の方がちょっと押してきたので今日のお話の中で、被らない部分だけでちょっとお話をさせていただくと、注意点みたいなことになりますけれども、2ページの「かいぼり」ですね。これについてもあのやり方っていうのを、検討いただければと思います。

多くのため池、多分玉池もそうだと思いますけれども、ブラックバスやら何やらが入っていると思いますので、単に水を抜くだけだと、一緒になって下流の方に、単なる拡散するだけにしかないかもしれない。あるいは水質浄化っていうのが目標だとすると、本当に水質浄化になったかどうか、ちょっと事前に「こんなに悪かった」っていうような、何を測っておけばいいのかっていうことは、今すぐ経験上、大体言えますけれども、ちょっと事前になんか測っておいて、その後どうなったか、どうかということをぜひ検討いただければなという風に思います。

それと加えて、隣の3ページの魚の件になりますけど、ブラックバスの駆除というのがあります。これはもう別に大垣市っていうことだけじゃなくて、岐阜県がかなり率先して、特にコクチバスについては、県知事がトップになって事業化されていますね。何年以内に完全駆除するということで、県の水産課がかなり骨を折られていますけれども、ぜひ・・・具体的に県とコラボっていうことはなかなか難しい部分あるかと思いますが、ただ県が発信している資料いっぱいあるので。例えば見分け方とかってことだけじゃなくて、例えば今キロ2,000円で買い取ってますから。ちなみにこのキロ2,000円っていうのは、他の県でもコクチバスの買取をやってる県はありますけれども、ダントツに高いです。それだけ県の本気度が表れていることかという風に思いますので、ちょっといやらしい話ですけども、こういったこともちゃんと周知の中に入れていただくと、何人かの高校生は小遣い稼ぎっていう様なことで、少し検討いただけるかなという風にも思いますので、そういった周知というこ

とも具体的なやり方っていうのは既に出ておりますので、そういったこともちょっと広報の中に入れていただければなど。

それとあと質問ですけれども、長沢公園の新設っていうのは、もうワークショップしながらっていうことでしたけれども、既に始まっているんですか？

事務局 もう始まっております。

会長 どんな感じでされてるんですか？このワークショップ。

事務局 公園の整備になりますと、一般的に市の方でこういう風にしたいって思いを伝えるんですが、使っていただくのは地元の方で、地元の方が使いやすい公園と思っていますので、市が作った計画は元々たたき台のつもりで居ます。配置はこういう風にした方がいいとか、遊具はこっちの方に集めた方がいいとか、トイレはこの向きがいいとか、もっと日陰が欲しいので木をもっと入れてほしいとか、そういう意見をいただきながら、また掃除する時に掃除箱はどこかなど、様々なお話があります。双方向といいますか、行政が一方的にこうって言うのではなくて、皆さんの意見をいただきながら、できる部分できない部分というのを取捨選択しながら、ご相談しながらですね、進めさせていただいています。

会長 いずれにしても押し付けではないっていうことと、逆に市民の皆さん方の意見をそのまま取り入れるというわけでもないっていうところの、折り合いをつけながらということですか？

事務局 予算に関係することになりますので、全て受け入れるわけにはいきませんが、その中で、妥協点を探しながら。

会長 というのは、私が以前関わった公園事業の中で、地元の意見を取り入れるっていうような、そういうワークショップがあったんですけれども、その時に、ある地元の方が「駐車場にしてほしい」という風に、もう身も蓋も無い様な意見を言われて、かなりガンガン言われる方だったんで、一時そっちに流れていきそうな感じになってですね、「俺の家の前に駐車場がないから、もう駐車場にしたら良かったら良い」とっていうような話があったので、ぜひそういうことが無いようにはしてくださいということで、ちょっと今現状どうなのかということをお聞きしました。

それと、その公園に関して、先ほど小島委員が言われたことになりますけれども、ぜひどっか重点的なところっていうのはあってもいいかなっていうようなことは・・・要するに、例えば画一的に滑り台、全てに1個ずつ置くとかいうような画一的なものでは多分無いとは思いますが、ぜひ重点的あ

るいは特徴を表すような公園作りを少しでも検討いただければなという風に思いました。私の方から以上ちょっと被らないところでの意見ということで、お話をさせていただきました。

ほか、よろしいでしょうか？

これで今年度の計画が案をとられるということですので、よろしいでしょうか。

(委員挙手)

委員

公園についてなんですけど、ある公園で実のなる木が・・・すいません。

前回もその話をしたんですが、実のなる木が何本かあって、それを公園で遊んでいる親子が取ったりとかそれはいい意味でなんですけど、それが何か楽しいとか、なかなかうちでならないような。例えばビワとか、そういうものがあるって、みんなでその時期になったら、この時期にこういうのがなるんだねって、いうこととか、そういう何本かそこの公園にあったんですけど、何かそういう場所とか会話とかっていうのって、なんか結構無い公園があるので、よく大事になっていう風に私は感じたんです。

今後そういうものを、普通の緑が多いうって、木が多いうってのは、すごく良い事なんでいいと思うんですけど、そういうものも増やしていくと、何となく何かいいかなというふうに私自身は、思っています。皆さんはどう思われるかちょっとわからないんですが、はい、そのように思いました。

ありがとうございます。以上です。よろしくお願いします。

事務局

公園の中に、実のなる木を・・・というのはかなりありまして、ワークショップの中でも実のなる木がほしいという話はよくあります。そのような場合は、基本的には取っていただいてもいいんですが、枝等折ったりして、木自体を傷めることが無いように、というところですが、そういう周知の看板等も上げておりませんので、本当はそういうのは看板をあげた方がいいのかもしれませんが、今はなるべくは取らないでって形をお願いしてる部分があります。どういう条件なら取れるということを周知をするのも一つなのかなと考えております。以上です。

委員

ありがとうございます。

会長

他はいかがでしょうか？時間もちょうどぐらいになってきましたけれども、特に事項としては・・・計画の事項案としては、皆さん方は特に異論がないという風に認めました。ただ、いくつかの要望、それから方法ですね、手順とか注意事項いわば助言っていうのをいただいたかという風に思います。これを今事務局の方はしっかりと受け止めていただいて、計画を実際の行動に進め

ていただければいいかなという風にも思いました。

よろしいでしょうか。これをもちまして原案を適当ということで認めたいという風に思いますけれども。

はい、特にご意見無いようですので、これでこの行動計画につきまして、進めていただければという風に思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは議事の進行を、本当にありがとうございました。

本日の議事につきましては以上ということになりますので、事務局の方に進行をお渡ししますのでよろしくお願いします。

事務局

森会長、議事を進行していただきありがとうございました。

それでは議事が終了しましたので、傍聴者の方はご退出をお願いします。

お疲れ様でした。

(傍聴者退室)

それでは、続きまして次第3の「その他」に移らせていただきます。

事務局

報告事項第1号「保存樹木の指定解除について」について説明

会長

ただいま事務局の方から報告がありましたが、何かご意見ご質問ございましたらご発言をお願いします。

(委員挙手)

委員

いいですか？実はですね、こういう保存樹木で、前に大野町でですね、何かこういうので一緒に仕事をしたことがあるんですけど、大野町は、この大垣市さんと違って、その1,100本も無くてもっと少なく、なんかそんなもんだっただんです。保存樹木といっても、山も無い所で、民家の土地に植わってるやつとか、あとはその神社にあるやつなんかが入るはずなんですけど、それが本当に何か今見て価値があるものなのかどうかというのを見てくれと言われて、一本一本全部見て回ってですね、それでこれは本当に保存樹木としてなんていうか、大事なもんですねっていうのはそんなに確認をして回ったのがあるんです。大垣市さん1100本ですごくたくさんあって大変だとは思いますが、これあの解除したいって言われたら個人の方が管理されてるやつなのかとかは、そうですねって言って、多分解除することにはなるとは思うんですけど、中には結構貴重な木もあったりするかもしれませんので、一度何かグリーンドクターの方とかでもいいと思いますので、そういう方と一緒にもう一度見直しておいて、これは本当に貴重なもので他にはないようなものだなっていうのを一度把握しておくといいかなと思いました。

僕もこれ回って結構大変だったんで、僕がやれって言われたらちょっと嫌なんですけど、多分グリーンドクターの方とかで、地域にも愛着を持ってる方とかいっちゃうと思うので、そういう方と相談して一度は全部把握しておくといいかなと思います。例えばここなんかでも、そのカシとかマツとかって書いてあるんですけど、カシもいろいろ種類がありますし、マツも赤松黒松ってありますし、あと僕も回ったときに分かったんですけど、誤同定で、間違っ
て同定されてる木もありましたので、そんなのも、もし余裕があれば確認しておくといいかなと思いました。コメントです。

主幹

ありがとうございます。実はですね、5年に一度協定というのを更新してまして、職員の方で、実は全件調査をかけて、1本1本確認しまして、樹木の台帳に照らし合わせています。今玉木委員がおっしゃるようになりますね、特に保存した方がいいというものは今年に関しては申請が無いですが、特別指定保護樹というのがありまして、これが大体幹周りが2m50cm以上、樹齢にしますと200年とか250年以上の木というのは、実は大垣市には15本指定がございまして、昭和40年代の後半から最近ですと大垣公園の北にある常葉神社さんっていう神社がありまして、そのオオクスの木ですね。2年ほど前に指定したという形で、実はこれ職員の方で毎年見て回ってまして、おっしゃるようにグリーンドクターとちょっとどうなのかと、これは危なそうだというのがもし出てれば、職員の方で見に行かしていただいて、特別保護樹というのを指定しておりますので、こういったものと、今回1,100本の保存樹木というのは一般のご家庭の木なので、もしそういったものを見に行かせていただいて、これはっていう木になると、そういった今おっしゃるような特別指定保護樹、そういう申請があれば、審議会で皆さんの意見を賜るわけですが、そういったことの仕組みもあるということで進めているということでございますので、一応今回は解除の話がどうしても出てしまうんですが、そういった特別大きな木に関しては、そういった一応制度がありますし、グリーンドクターとかそういったところの皆さんと連携しながら見て回るということもやっているということでございますので、よろしくお願いします。

委員

ありがとうございます。あと、今言ったカシとかマツとかも、もうちょっときちんとした種まで割と簡単に落とせるので、そういうグリーンドクターの方とか知識持ってる方とかに改めて間違っていないとか、これは何のカシなんやとかっていうのまで、きちんと押さえておく貴重なデータベースになるのかなと思いました。はい、以上です。

事務局

副会長さんはどうでしょうか？よろしいですか。

(なし)

その他委員さんは、いかがでしょうか？

(なし)

それではご意見も無いようですので、長時間にわたり慎重にご審議いただき、誠にありがとうございました。

本日頂戴しました貴重なご意見は、本年度の緑の行動計画に反映させるとともに、今後も緑を通じて SDGs の取り組みを進めてまいりたいと存じます。

今後とも委員の皆様には、本市の緑化施策をご指導いただくとともに、より一層のお力添えをお願い申し上げます。

最後に連絡事項を申し上げます。

本日審議会にご出席いただきました委員の皆様には、後日、それぞれのご指定口座に委員報酬をお振り込みさせていただきます。

また、今回新たに委員となられた方には、マイナンバー報告書と口座振り込み依頼書を後ほどお願いいたしますので、事務局の方でご記入等をよろしくお願いします。

それでは、以上をもちまして、令和 6 年度第 1 回大垣市緑化審議会を閉会とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

(終了時刻 午後 3 時 45 分)

議事録署名

会 長 _____

委 員 _____

委 員 _____